

MY JOURNEY Ex-OMerの歩み



Ex-OMerとは、以前OM宣教に関わったことがある人たちのニックネームです。OM日本は過去20年以上も若者を海外宣教送り出してきましたが、その後の歩みは様々。My Journeyでは、帰国した方達のその後の歩みを伝えていきます。

私たちが訪問した教会は宮城仙台市にある、『仙台国見教会』と福島県いわき市にある『ジーザスおとうさんの家』、『グローバルミッション』という教会です。

私たち OM チームをあたたかく迎えてくださり、メッセージや船の証を話す機会が与えられました。また過去にロゴスホープの船に乗船していたことがある牧師先生にも会う機会が与えられ、乗船中の経験や驚くべき奇跡について話を聞くことができました。

宣教や教会訪問をする中で神様の助けが必要な人、また「祈り」が必要な人がどれだけ多くいるのかを思い知らされます。

世界には196の国があり、16,700の部族があると言われる、まだ福音が伝わっていない部族が6,900あると言われています。

まだ一度も神様のことを聞いたことがない人々に福音を伝える働きは日本でも行うことができ、今置かれている状況の中でも実現することができると思います。

私は時に今後の計画を自ら立ててしまい、神様に今後の歩みを委ねることが難しい時があります。けれども神様は私たちに素晴らしい計画を与えてくださり、導いてくださるお方です。神様は私たちを決して見捨てることなく、私たちの「祈り」を必ず聞いてくださいます。そのことを船に乗船中や帰国後の体験を通して学びました。

現在は継続してOMの翻訳作業、クリスチャンラジオ(TWR)のWEBサイト制作の働きに携わっています。今後もあらゆる状況の中でも祈ることを大切に歩んでいきたいと思っています。

神様が私の「祈り」を様々な形で聞いてくださったことに驚きました。

すぐに参加することを伝え、2020年11月29日(日)にOM日本のチームと一緒に一日に3つの教会を訪問することができました。



← 勤務中は船に訪れる子供とお話したり、触れ合うことも
↑ STEPの方達との休日、カリブ海をバックに
→ 東北の教会訪問での証の時

国内奉仕者募集

★ 日本語教師ボランティア
 日本国内 〓 ボランティア
 海外から日本に長期宣教師としてくる方達が、新型コロナウイルスのせいで来日することができず、本国にて待機をよぎなくされています。彼らが待機している間、日本語をオンラインで教えてくれる方を募集しています。OM日本事務所までご連絡を。

★ ビデオ製作ボランティア
 日本国内 〓 短期ボランティア
 OM日本の活動紹介や、宣教師が本国に報告するためのビデオ製作を手伝ってくださる方、撮影から編集に至るまでの工程ができる方、機材をお持ちの方を募集しています。あなたの賜物を主のために生かしてみませんか。

海外奉仕者募集

★ MD T (Missions Discipleship Training)
 南アフリカ、ヨーロッパなど 〓 6ヶ月~2年間
 今号のP4を参考

★ ロゴス・ホープ号
 世界中 〓 1年間/2年間
 ロゴス・ホープ号には常時60カ国から400人以上の人がボランティアクルーとして乗船。様々な国を航海し、寄港先と船内でミニストリー。ロゴス・ホープ号乗船中は、毎日決められた部署での仕事をを行い、さらに様々な形式の宣教と弟子訓練に参加していく。

捧げよう

OMの働きを覚えてご支援下さい。

- 📍 ロゴスホープ号による支援物資と子供用聖書の献金
- 📍 OMアートミニストリー協力金
- 📍 南アフリカ弟子訓練 (MDT)
- 📍 OM日本事務局支援献金*

*みなさんの献金は、事務局の運営費とサポート額が十分でないスタッフの支援金として当てられます。

献金先

上記のミニストリー/プロジェクト、または特定の宣教師のための支援金を送って下さる方は、振込用紙の通信欄に送金内容をご明記の上、OM日本の口座にご送金くださいますよう、お願いいたします。

🌐 www.omjapan.org/give
 📮 郵便振替口座 02100-0-24998 加入者名「OM日本事務局」

緊急献金！



📁 献金方法
 「子供用聖書」と明記し、OM日本の口座にご送金くださいますよう、お願いいたします。
 🌐 www.omjapan.org/give
 📮 郵便振替口座 02100-0-24998 加入者名「OM日本事務局」



OMのミッションステートメント：
 私たちの願いは、最も福音が伝えられていない人々の間で、イエスに従う者による生き生きとしたコミュニティが形づくられることです

OM (Operation Mobilisation) は、世界約110カ国で3200名が活動している超教派の国際的宣教団体です。OMは世界宣教のために奉仕者の育成と、最も福音が伝えられていない地域への伝道、そしてイエスに従うものによる生き生きとしたコミュニティが形づくられ、それらが育成されていくことを目標としています。

OM日本・OM Japan
 🌐 om.org/jp 📘 fb.me/omjapan 📧 info.jp@om.org
 ☎ +81 (0)76-239-2830 (TEL&FAX) 📍 〒920-0277 石川県河北郡内灘町千鳥台2丁目394
 📮 郵便振替口座 02100-0-24998 加入者名「OM日本事務局」
 OM日本ニュース 第86号 2021年 夏号
 発行人：スティーブン スミスドルフ 編集&デザイン：近藤健二

大規模噴火災害のカリブ海の被災地に子供用聖書を！

2021年4月9日、カリブ海のセントビンセントにあるスプリエール火山が噴火し、大規模災害となりました。火山の噴火は今も激しく続き、島には今もなお大量の灰が降っている状況です。火山灰と残骸の重い堆積物は家屋を破壊し、木々や畑を覆い、島では電気の停電や水不足が未だ続いています。数千の人々が今も避難所や友人の家に滞在しています。専門家の予想ではこの噴火は年内ずっと続くということです。

噴火後、OMのクルー達はすぐに現場に着き、ロゴスホープ号より、避難所の人々に必需品や水の配給を開始しました。地域の教会や団体と協力して飲み水、浄水フィルター、衛生用品、クリーニング用品、そしてマットレス等の供給に従事しています。

次のステップ：
 まもなくロゴスホープ号は、更なる災害支援物資、心のケア活動、そして子供たちに特別なプレゼントを配るためにセントビンセントに戻ります。被災地にいる子供たちに聖書を配布するための支援献金をお願いします。

献金目的：
 ロゴスホープは再度、救助物資をもってセントビンセントに寄港し、3000冊の子供用聖書を配布します。購入と輸送費を含め、聖書は一冊につき約21ユーロ(約2500円)を必要とします。どうか皆さんの温かいご支援をよろしくお願いします。



OMアート・ミニストリー 仙台から発進！ P2-3

Celebrating Arts!



Missions Discipleship Training

南アフリカにて 弟子訓練 P3-4

2大特集：
 ・OMアート・ミニストリー 仙台から発進！
 ・南アフリカにて弟子訓練

緊急献金のお願い：
 大規模噴火の被災地に聖書を！

MY JOURNEY Ex-OMerの歩み 東北訪問を通して

新連載



1 ホームレス伝道の様子 2 路上生活者との聖書勉強会
3 青年会の紅葉狩り 4 学生伝道の様子
5 アートワークショップの様子

OMアート・ミニストリー 仙台から発進！ 仙台チーム活動報告



こんにちは。私たちが所属するOM宮城チームは、宮城県の登米市と仙台市の2つのチームからなり、合わせて10人の宣教師が共に奉仕しています。登米市は名前から分かると思いますが、お米の産地です。地元特有の仲間意識と強い結束力があり、宣教師にとっては未信者との人間関係作りが難しく覚えることがありますが、その分親しくなると、深い関係を築くことができます。この数年間、登米市で洗礼を受ける方々が相次ぎ、その方達が自分の家族や友人へ伝道し、またさらにクリスチャンが増えていることが感謝なことです。

ところで、私たち夫婦は都市部の仙台市におりますので、登米市とは違うアプローチの仕方で、人との繋がりを築いて

いなくてはなりません。その一つが、ケンが率いるOM国際のアート・ミニストリーです。私達は演劇のワークショップを月に1回行ったり、また、繋がりを持って友人のために絵を描いています。ワークショップも絵も、相手の気持ちを理解し、相手の立場から神様を感じることができるように工夫をしています。また、ホームレスのための聖書勉強会を行ったり、彼らへのお弁当の準備、また住む場所と一緒に探したり、ホームレスの方達が社会復帰する上での生活面のサポートをしています。さらに、仙台市内の横のつながり（ネットワーク）を生かしていくことで、様々な教会や信徒達と一緒に奉仕することが可能になり、学生伝道やイベント等、多くの宣教のチャンスが与えられています。現在コロナにより、以前とは状況が異なってきましたが、オンラインという形で直接会えない方との交わりが続けられています。また、人と関係を築くためには、イベントでつながったあと、普段の何気ない交わりをしてフォローアップすることがとても大切だと思います。例えば、食事や雑談、一緒に歌を歌ったり、青年た

ちとのピクニックや紅葉狩りなど、日々の何気ないことを通して、彼らが神様へと繋がるができるようになることを願っています。

“ 演劇ワークショップも絵も、相手の気持ちを理解し、相手の立場から神様を感じることができるように工夫をしています ”

東北はクリスチャンが少ない地域です。ですが私達は、既存教会を支え、日本そして海外の信徒達と協力しながら、新しいアイデアを積極的に取り入れ、これからも宣教していきたいと思っています。是非お祈りください。ボランティア参加も受け付けています。

参加しよう

仙台発OMアートへの参加者募集

ワークショップやアートを通じた伝道活動のために共に活動してみませんか？OMアートでは、絵画、演劇、舞踊など、ありとあらゆる分野でのアーティストと繋がりを、日本のクリスチャンが主からいただいた賜物を生かし、成長して主の栄光のために用いられることを願っています。



南アフリカで 宣教と学びによる 弟子訓練

三重県出身の岡田拓実くんが、日本人として初めてMDT (Missions Discipleship Training) に参加しています。世界から集まってくる若者たちと1ヶ月の共同生活。毎日の聖書と宣教の学びに加え、実践的な伝道に始まり、さまざまな現場での奉仕、1000km離れた場所でのアウトリーチなど、冒険でいっぱいです。

南アフリカでMDTプログラムに参加している拓実です。

預言者ヨナのように

18歳の冬、私の教会のリーダーからタイに短期宣教旅行に行ったらどうかという誘いを受けました。しかし、宣教には全く興味がなかった私はその話を断りました。

それから数ヶ月後、高校を卒業した私は自転車で旅に出ることにしました。しかし、一ヶ月後予期せぬ大怪我により病院に運ばれ6週間の入院生活を強いられました。その時人生の虚しさを知り、人生の目的は何なのか、全てを知る神様に人生の導きを求め始めました。(ヤコブ4:13-15, イザヤ46:10)

退院後、様々な人々との出会いや出来事を通して神様は私にMTD参加への導きをくださいました。それから、精肉工場で働き資金を貯めながら、言語学習などMDT参加への準備を始めました。

コロナによって閉ざされた

しかしそれから2年後の去年の夏、新型コロナウイルスの世界的大流行により南アフリカへの道は一度閉ざされてしまいました。落ち込んでいた私に対し、神様はアブラハムがイサクを捧げたようにこの計画をわたしの前に捧げなさいと言われました。

それから半年後の今年の2月、大規模なコロナの感染拡大、ビザ申請の不備など様々な問題があった中、神様は南アフリカへの道を開いてくださいました。この四ヶ月間MDTのプログラム通して、特に神様との会話の中で多くのこと



を教えられています。

[私の弱さの中に働いてくださる神様の力のすばらしさ]
2コリント12:9 ピリピ4:13

何もできない初めての海外生活

南アフリカに入学しプログラムが始まるとすぐに英語での授業、ディスカッション、アウトリーチが始まりました。これが初めての海外生活だった私は自分の弱さを教えられ、自分の力では何も出来ないことに気付かされました。そこで、人と話す時にも、授業に出席する時にも、祈る時にも、聖書を読む時にも、何をする時にも神様に祈り助けを求めることにしました。すると私の弱さのうちに聖霊様の力が働いてくださり、言語にも文化にも早く順応し良い学びの時を持つことが出来ました。

ホームレスへの奉仕を通して

2月から4月の間は、毎週水曜日にホームレスの方々の支援を行っている施設を訪ねアウトリーチをしました。神様の恵みによって施設利用者のムドウドユさんと知り合い、良い関係を築くことが出来ました。毎週彼にズル語を覚えてもらい、彼と御言葉をシェアし共に祈る機会が与えられました。ある日彼から仕事を与えられるように祈ってほしいと言われたので、そのことについて一緒に祈りました。するとそれから三週間後、リサイクルセンターでの仕事を始めたという知らせを聞くことが出来ました。彼との素晴らしい時を恵みによって与えてくださった神様に感謝です。



1 & 2 毎週水曜日のホームレスアウトリーチの施設と、拓実くんが会うズル族のムドウドユ。

3 広大なOM南アフリカのMDTセンターにある拓実くんの住まい。男性3人での共同住まい。

4 広場において若者たちとスポーツや肉体トレーニングを通して聖書の学びと祈りの時間を持つ。

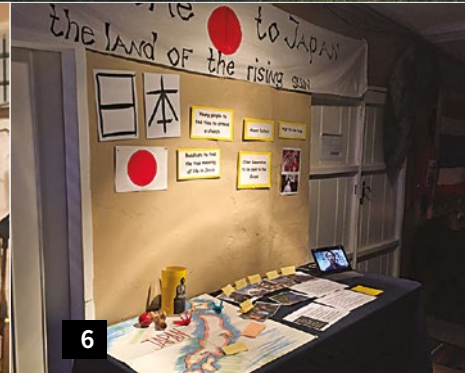
5 & 6 南アフリカに来て、ますます日本のための祈りに燃やされる拓実くん。祈禱会において、日本の状況説明とニーズを分かち合う。

ランニング・ミニストリー

5月の中旬は二週間、ベースから1000kmから離れたイースタンケープという地にアウトリーチに行きました。宣教団体が運営している全寮制の小中学校に滞在しながら、クラスや礼拝の手伝い、建物の改修工事や掃除などを行います。神様の恵みと導きによって私にはランニングクラブのトレーニングを指導する機会が与えられました。キツイトレーニングの後、生徒たちと10分間のバイブルスタディと祈る時間を持つことが出来ました。生徒たちとの素晴らしい時を恵みによって与えてくださった神様に感謝です。

また南アフリカにいるこの四ヶ月間、外に買い物に行く時、走りに行く時、道ゆく人々に声をかけ、彼らのために祈る機会が与えられているのは恵みです。

何も取り柄のない私を神様が恵みによって神様の栄光のために用いてくださっていることに感謝です。



[神様は人生の旅路の地図]
箴言 3:6, 16 箴言 16:9

将来の保証はないMDT

MDTでは給料は出ません。また学位や資格が取れる訳でもありません。MDTのプログラムを終了しても何一つ将来の保証はありません。MDTが始まるまでは、MDT終了後のことで頭がいっぱいでした。

プログラムの中で一週間、神様が自分たちに与えてくださっている将来のビジョンについて考える時間がありました。その時私は、自分のうちにある聖書翻訳への思いが主の御心なのを祈っていました。それから二週間後、ベースで講師として来ていたある宣教師の方にお会いしました。彼女は昔パプアニューギニアで聖書翻訳家の方々と共に働きをされていた。その中には日本人の聖書翻訳家の方もみえたそうで、私が日本人だとわかると凄く喜んでくださいました。その日、彼女と素晴らしい会話を持つことが出来ました。また東南アジアで働きをされている聖書翻訳家の方の連絡先や聖書翻訳に関する多くの資料を頂くことが出来ました。私の些細な祈りに応えてくださった神様に感謝です。

頭の中で色々将来の道について考えてしまいますが、神様は私の一步一步を定め導いてくださっています。

全ては主の栄光のために

私が一人で人生を歩む時、私は何もすることはできません。私の人生は無意味です。神様と共に歩み、神様が私の人生

を神様の栄光のために用いてくださるようにお祈りを願います。

「あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。」
ヨハネ15:5, 8



MDT について (Missions Discipleship Training)

ドイツ、アイルランド、東ヨーロッパ、スイス、トルコ、イギリス、南アフリカ、ザンビア、ガーナ
期間：6ヶ月～2年（開催国による）
資料申し込み：info.jp@om.org

世界の様々な若者と共に学び、海外において異文化宣教と異文化共同生活を体験してみませんか。（要英語力）

MDTでは以下4つを柱としています：
[知識] 聖書の学びや異文化宣教の学びを通しての学び
[コミュニティ] 海外の若者と共に住もう異文化生活
[メンタリング] 内面的な人格形成
[経験] さまざまな現場や他団体においての実務奉仕